

米國經濟界

○驚異的發展

國富は五十年間に七倍
預金は三千二百億ドル

ニユーヨーク 一月廿八日(月)

本日アメリカ商務省の發表によれば、過去五十年來各方面に亘るアメリカの發展振りは驚くべきもので、例へば全國に於ける電話線の如き現在凡そ六千萬マイルに達し、その一日の通話數も六千萬を算する有様である。又過去十ヶ年以内にアメリカ人が買込んだ無電のセットが一千三百萬個以上、洗濯機が五百五十萬、それに真空式掃除器八百萬餘に達する。なほアメリカの富は過去五十年間に七倍以上に増加し、俸給生活者の數は三倍餘、人口も二倍以上に增大した。なほ一八八〇年以来アメリカ人の銀行預金は殆ど廿四倍に増加し、全國の預金は一九二七年末に於て合計三千二百億ドルといふ驚くべき額に上つた。

○各種農產物の

開稅引上運動
フジントン 一月廿八日(月)

アメリカ下院豫算委員會は目下關稅改正問題に就き審議を重ねてゐるが、アメリカ各農業團體は同委員會に對し各種農產物輸入關稅率引上げに關する大々的運動を開始してゐる。本日もアメリカ農業聯合會及び全國農業協會代表者は下院豫算委員會に出席し家畜、肉類製品、人造バタ及びバタ代用品、

○飛行機の一般的使用獎勵
代金賦拂ひて販賣の計畫
ニユーヨーク 二月一日(金)

今回アメリカに於ては飛行機の一般的使用を獎勵する目的で資本五百萬ドルの一大飛行機會社が創設された。同社では同飛行機を

公債市場ではアメリカ政府證券は閑散、引弛み氣味である。外

大豆、棉實等數十種の農產物輸入に對しアメリカ農業者保護の見地から關稅引上げを希望する旨を請願した。

○東北部鐵道統一

ニユーヨーク・セントラル鐵道の大計畫承認
ワシントン 一月廿八日(月)

かねてニユーヨーク・セントラル鐵道より州際商業委員に申請中であつたアメリカ有數の鐵道統一計畫は今回承認をみた。その統一計畫といふのはクリーヴランド・シンシナチー・シカゴ・セントルイス鐵道、ミシガン・セントラル鐵道その他現在のニユーヨーク・セントラル鐵道の傍系鐵道を公共の利益のために借入の形式にてニユーヨーク・セントラルに合併せんとするものである。

なほ今回の申請中には含まれてゐないが、右諸會社の傍系に當る六小鐵道をニユーヨーク・セントラルが買收せんとすれば、これも許可されることになつてゐる。

(備考) ニューヨーク・セントラル鐵道はシカゴ、ニューヨーク間に鐵道網を張る大會社で、資本金四億三千八百萬ドル、その所有鐵道三千八百六十萬マイル、從來借入の形式にて支配せる鐵道廿二社、三千二百六十萬マイル、更に今回借入の形式にて支配することになつた會社は約九社、約五千五百萬マイルである。

○ゼネラル・モータース
新株上場開始

一方公共事業株は初め急騰したがその後利喰ひに押されて引弛んだ。コレル・マナーは一時八分に達したが後七分に引弛み、而も資金の供給は相當潤澤にある。

日本公債、額面百ポンドに付 利率 一月廿一日
英貨六分利公債 六步 半磅
第三回英貨公債 六步 半磅
東京市事業公債 五
同電氣事業公債 五
大阪電氣水道同 第十三回興銀社債 五
第四回滿鐵社債 四半磅
第十九回同 同 五
東京電燈新社債 六
東京市新英貨公債 五半磅
(本號第四頁相場欄參照)

因に七千五百萬株といふ莫大な株數を擁する會社はアメリカでもゼネラル・モータースだけで、第一番目にニュージャージー・スタンダード石油會社の二千四百三十

月未資金需要あるに拘らず市況は概して豫想以上に緩漫である。手形の割引率は金利に連れて浮動してゐる。

倫敦金融市況
倫敦金融市況

日本公債は閑散で動きが歎い。株式債券出來高
ニユーヨーク 二月一日(木)

國公債は閑散で動きが歎い。
○一月中の
株式債券出來高
ニユーヨーク 二月一日(木)

ニユーヨーク 二月一日(金)
株式取引出來高は二億四千七百七十二萬ドルである。

これ過去十二ヶ年の同期及び最近十二ヶ月と比較すれば左の如くである。
株式取引出來高は一億一千八十万株で又債券取引出來高は二億四千七百七十二萬ドルである。

△株式取引出來高(単位千株)
ニユーヨーク 一月廿一日(木)

ニユーヨーク株式取引所に於ける一月中の株式取引出來高は二億一千八十万株で又債券取引出來高は二億四千七百七十二萬ドルである。

ニユーヨーク 二月一日(木)
株式取引出來高(単位千株)
ニユーヨーク 一月廿一日(木)

この額面變更案は普通株(額面廿五ドル)を二株半に分割し、一株の額面を十ドルとなさんとするのである。同社株主總會は十二月十日デラウエア州ウイルミントンに於て開催、左の諸項を可決した。

一、現在の普通株(廿五ドル)總數三千萬株の代りに新株(十ドル)七千五百萬株の發行を許可すること。

一、先づ新株四千三百五十萬株を發行して既發行舊株一千七百四十萬株と、新二株半に對し舊一株の割にて引換へを行ふこと。

一、引換へ開始日は一九二九年一月七日とする。

なほ新株の空賣買は昨年十二月

初めより取引所で行はれてゐたが愈最近引換へを完了して新株が主として上場されるに至つたものと思はれる。なほ額面變更によつて

セネラル・モータース會社の資本金總額には變更を來たさないが一株當りの配當額は舊株の場合に比し年二ドル半方の增加となる筈である。

△ロンドン公社債相場
(日本公社債、額面百ポンドに付)

利率 一月廿一日
英貨六分利公債 六步 半磅
第三回英貨公債 六步 半磅
東京市事業公債 五
同電氣事業公債 五
大阪電氣水道同 第十三回興銀社債 五
第四回滿鐵社債 四半磅
第十九回同 同 五
東京電燈新社債 六
東京市新英貨公債 五半磅
(本號第四頁相場欄參照)

英國爲替市況

今週のロンドン爲替市場に於ては米英爲替は引續きポンドにとつて不利に動いてゐる。スペインのベセタ爲替は最近の反亂（現政府頗覆、但し失敗に終る）により軟化した。その他のヨーロッパ大陸諸爲替は動いても多くはボンドに有利である。支那爲替は浮動、日本爲替は鉢状である。

○英國銀行金移動週報

受入高	引出高	差引純流入	純流出	△最近數週統計
一月十六日	一月廿一日	一月廿一日	一月廿一日	ロンドン一月廿一日(木)
廿三日	廿三日	廿三日	廿三日	△一月三十日迄(週間)(單位千ポンド)
三十日	三十日	三十日	三十日	受入高 引出高 差引純流入 純流出
五七	九七	五七	九七	△解禁以來
五八	九八	五八	九八	△輸出入
五九	九九	五九	九九	金塊 銀塊 △輸出
六〇	一〇〇	六〇	一〇〇	△輸入 銀塊 金塊 △輸出
六一	一〇一	六一	一〇一	△輸入 銀塊 △輸入 金塊
六二	一〇二	六二	一〇二	△輸入 △輸出 △輸入 △輸出

倫敦銀塊市況

今週の銀塊市況に關しロンドン著名の銀塊仲買商は左の如く報じてゐる。

▲サミール・モンタギュー商會

今週賣手は安値では賣り溢り、支那もアメリカも賣物を出さうとしてなかつた。尤もバザー筋が若干の轉賣物を出したが然し一方多量の買ひ注文を出したので市場は氣配騒りとなり相場もこれにつれて引戻した。

▲モーカツタ・ゴールドスマット商會

今週相場が騰貴したのは王としてイング及び支那よりの賣物が停止したのみならず、イングか

支那も亦時々買付けてゐた。イングが今週盛に買付けたのは今週の便船で本國へ積出すためであるがなほ來週積出すための註文も出てゐる。

○英國金銀塊輸出入額

ロンドン	一月廿一日(木)	△一月三十日迄(週間)(單位千ポンド)
上 海	一月廿一日	一月廿一日(金)
總 在 荷 高	上海一千九百零六十五年十二月廿六日	上海一千九百零六年十二月廿六日
上 海	一月廿一日(金)	△最近數週統計(上海總在荷高)
總 在 荷 高	一千九百零六年十二月廿六日	一千九百零六年十二月廿六日
上 海	一月廿一日	一千九百零六年十二月廿六日
總 在 荷 高	一千九百零六年十二月廿六日	一千九百零六年十二月廿六日
上 海	一月廿一日	一千九百零六年十二月廿六日
總 在 荷 高	一千九百零六年十二月廿六日	一千九百零六年十二月廿六日

○上海銀塊在荷高

支那も買付けてゐた。イングは今週の銀塊市況に關しロンドンは支那も亦時々買付けてゐた。イングが今週盛に買付けたのは今週の便船で本國へ積出すためであるがなほ來週積出すための註文も出てゐる。

米國金物市況

金 物

内支那銀	行手持高
大、二、八、千	二、二、三、本

△ニューヨーク金物相場

今週の金物市場には格別の新材料なし。

△銅 アメリカ市場の好報を入れて引續き强硬である。ヨーロッパ大陸の需要は週末には稍や不振となつたが遠からず回復を見るものと一般に氣構へられてゐる。

△銅 アメリカ市場の好報を入れて引續き强硬である。ヨーロッパ大陸の需要は週末には稍や不振となつたが遠からず回復を見るものと一般に氣構へられてゐる。

△銅 アメリカ市場の好報を入れて引續き强硬である。ヨーロッパ大陸の需要は週末には稍や不振となつたが遠からず回復を見るものと一般に氣構へられてゐる。

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

英國金物市況

クリーヴランド・スクランプ △ヘビーカスト・アイアン △銅(グラスゴー第三號上物) △鋸(松山本船渡) △鋸(松山本船渡)

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

○イギリス銳力工場休業

△銅 落付。外國筋の買付け良好である。一月中の銅輸出高は約十萬トンに上るものと見積られる（註、これは未曾有の巨額、前月は五萬トンであつた）一方アメリカ内地市場の形勢を觀るに銅線の消費は増加し、又一月中真鍮製造會社の製品積出高が記錄的多額に上つたので製銅會社は益々氣を好くしてゐる。

△鉛 落付。需要はぼつぼつて主として小口直積に對するものである。

△亞鉛 直積並に第二期(四、五、六月)積共に引合ひは見直した。△安質母尼 直積に對する消費需

要が見直すものと豫想される爲めである。

△亞鉛 買物は少く、底意も恥りである。

△亞鉛 買物は少く、底意も恥りである。

△亞鉛 買物は少く、底意も恥りである。

△亞鉛 買物は少く、底意も恥りである。

△錫 週初め幾分活氣を呈したがその後鉢状となつた。

△錫 直積並に第二期(四、五、六月)積共に引合ひは見直した。△安質母尼 直積に對する消費需

要が見直すものと豫想される爲めである。

△錫 週初め幾分活氣を呈したがその後鉢状となつた。

△錫 直積並に第二期(四、五、六月)積共に引合ひは見直した。△安質母尼 直積に對する消費需

